

滝川市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

滝川市は、北海道中空知地域の中心都市として、さらには周辺市町を含む交通の拠点として機能しており、特に路線バスは滝川市内及び周辺市町住民の通学・通院・買い物等の足として重要な役割を果たしてきた。

しかし、路線バスの利用者数は、人口減少、自家用車利用の増加により年々減少し、また、市街地の拡大に伴い、効率的な運行が難しい状況にあるなど、今後路線バスの維持が困難となることが予想される。

こうした状況下において、特に滝川市内線は、市内移動の基幹的な役割を果たすとともに周辺市町と滝川市を結ぶ広域路線に接続する重要な位置づけにある。今後さらに高齢化が進む中で、高齢者など交通弱者にとっての生活利便性を向上させ、広域的な交通接続による地域の活性化を実現するため、滝川市内線の確保・維持が必要である。

地域公共交通の現況(平成25年3月31日現在)

- JR函館本線・根室本線
(滝川駅、江部乙駅、東滝川駅)
- 北海道中央バス(株)、空知中央バス(株)
(都市間バス3路線、近郊路線10路線、市内線3路線)
- タクシー事業者4社
(三和ハイヤー、ふじ観光、北星交通、三星ハイヤー)
- スクールバス(5路線)

滝川市生活交通ネットワーク計画の目標・効果

- 目標
 - ・利用者数 216,000人/年
- 効果
 - ・市内移動の基幹的な公共交通を確保することで学生や高齢者など交通弱者にとって生活利便性が向上する。
 - ・地域間幹線系統に接続するフィーダー系統として、人の流動を促進し地域の活性化につながる。

滝川市地域公共交通活性化協議会開催状況

- 平成24年1月30日 協議会開催
生活交通ネットワーク計画の策定及び運行予定事業者の選定の承認
- 平成24年3月1日 協議会開催
生活交通ネットワーク計画を承認
- 平成24年7月9日 協議会開催
生活交通ネットワーク計画の変更を承認済

平成25年度事業概要

滝川市内線(東町先廻、西町先廻) 起点:滝川ターミナル、終点:滝川ターミナル
運行計画日数365日、計画運行回数5,701回

平成25年度事業の実施状況

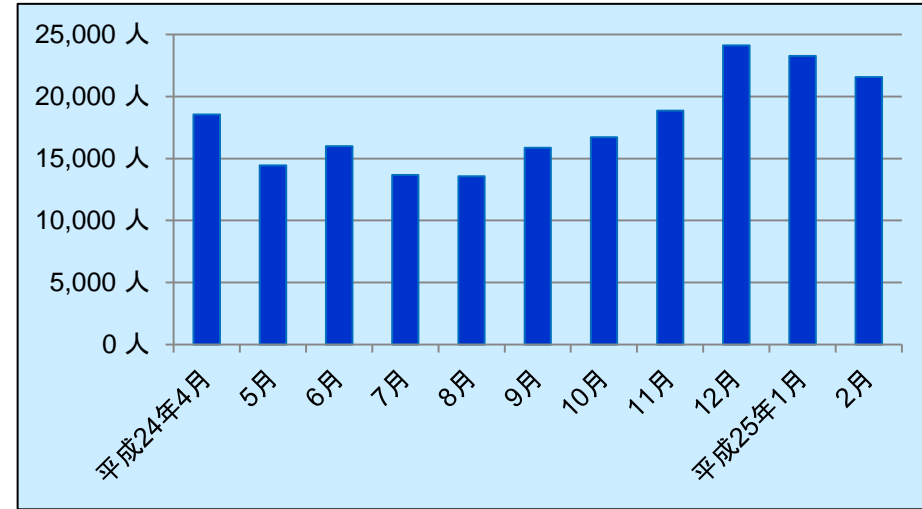
1) プロセス、創意工夫

- 市内循環バス実証運行(平成21年10月～24年3月)
 - ・中心市街地エリアに3か所のバス停留所を増設するとともに、待合所を整備し、利便性向上に取り組む
 - ・実証運行利用者を中心に中心商店街の取扱店で特典やサービスが受けられる「バス乗車トクトクサービスカード」を配布し利用促進を図る
 - ・地域ニュースを発行し、利用促進策の実施状況を市民に周知
- 本格運行開始(平成24年4月)
- 運行ルート一部変更(平成24年12月)

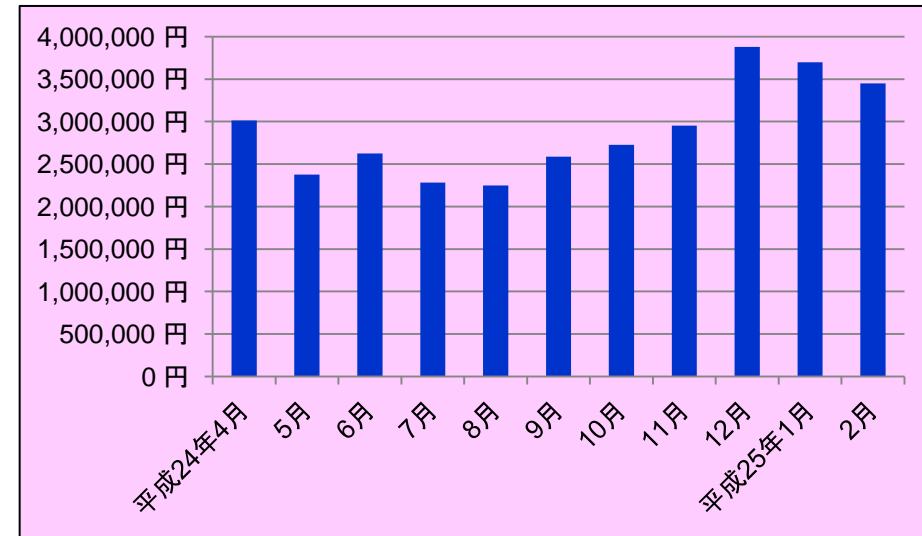
2) 運行ルート



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施され、今も実施中である。

7) 事業の今後の改善点

一部ダイヤの見直しを検討し、収支改善と持続可能な運行を目指す。

6) 目標・効果達成状況

年間利用者数目標216,000人、月平均18,000人に対し、平成25年2月現在の達成状況は104,567人、月平均20,913.4人となっており、月平均では目標を上回る状況である。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。月平均では、目標を上回っており、年間利用者数においても目標値に近い数に達する見込みであるため、今後利用者ニーズの把握等を行い、夏場の利用者減少を食い止めるような更なる利便性向上の取り組みを実施することにより継続して年間利用者目標を達成するような持続可能な事業となることを期待する。